

医労連速報 '14春闘

2014年3月13日 No25

東京都台東区入谷 1-9-5 日本医労連 tel 03-3875-5871

東京民医労南部医療支部 スト集会100人結集

東京民医労南部医療支部は、12日の団交で13年ぶりに全職種ベア500円の回答を引き出しました。しかし、生活防衛のためには500円では納得できないと13日に始業時1時間ストを決行。スト集会には100人が結集、大田区労連議長、日本医労連原書記次長が激励にかけつけました。集会では、「長時間労働でみな疲弊、人材確保のために賃上げが必要」（薬局）、「地域医療をまもっている労働者を大事にしない姿勢に怒」（訪問看護）、「生活できない低賃金。組合に結集して頑張る」（ヘルパー）と切実な声があがりました。



厚生荘病院労組

厚生荘病院労組では、定期昇給のみの回答に1時間ストと昼集会で抗議し、39名が参加しました。小雨降るなか、賃上げや大幅増員、社会保障守れとシュプレヒコール。日本医労連、東京医労連からの情勢報告後、労働法制改悪についてミニ学習会。「安全・安心の医療のために賃上げと労働条件の改善が必要。要求前進を目指し、一致団結して頑張ろう」と決議文を読み上げ、拍手で承認されました。



公共労、本部前で決起集会



公共労は13日、団交を前にした昼に本部事務所前で決起集会を行いました。全5支部が全国から参加し、日本医労連からも中野書記長、原書記次長、金子書記、川村書記の4名が応援に駆けつけ、21名での行動になりました。

公共労の仲間は、「年末年始手当廃止反対！」「休みがとれる人員配置を！」「理事者は職員の声を真摯に受け止め、誠実な対応で交渉

に答えろ！」などと発言しました。公共労の佐々木委員長、駒宮書記長が、賃上げ、年末年始手当、退職金問題の解決と、看護職員はじめとする現場の劣悪な環境を改善するよう強く求めました。